

## 令和6年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立東調布第三小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・学習問題を追究、解決する過程で積極的にタブレットの活用を行った。それにより、自力解決をしようとする意欲的な様子や、協働して解決しようとする様子が見られた。
- ・グラフや写真などの資料の読み取りの多くとったり、考えたことをまとめたりする機会を確保した。それによりグラフの特徴や、資料の相違点に着目して考えをまとめられるようになってきた。

#### (2) 課題

- ・資料の読み取りや思考・判断などを重視する授業を展開した結果、地図記号や都道府県の位置などの理解の定着で課題が見られた。
- ・グラフの特徴や資料の相違点を捉える能力は養われてきているが、その要因や、影響などの見えない部分を考える力の育成が必要である。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	全国の平均値を4.5割上回った。	/	/
第5学年	全国の平均値を0.2割下回った。	全国の平均値を0.4割下回った。 (第4学年時)	/
第6学年	全国の平均値を1.6割上回った。	全国の平均値を5.0割上回った。 (第5学年時)	全国の平均値を2.1割上回った。 (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第4学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を1.1割下回った。設問別に見ると、区市の様子を地図から読み取り、全体像をつかむことはできるが、細かい地図記号の意味を理解するのに正確さを欠く課題が見られた。	目標値を9.0割上回った。設問別に見ると、すべての設問で全国平均を上回った。特に、適切な安全マップの判断や、昔からの道具の変遷についての資料の読み取りでは、全国平均を10割以上上回った。	目標値を6.0割上回った。設問別に見ると、ほぼすべての設問で目標を上回っているが、地図記号の読み取りで、一部課題が見られることが分かった。

##### ② 第5学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を4.1割下回った。設問別に見ると、「緑のダムの仕組み」では6割以上上回っているが、年表の読み取りでは課題が見られた。	目標値を2.5割上回った。設問別に見ると、愛知県の地形や工業や防災倉庫の設置の目的について考える問題で、いずれも5割近く下回り、苦戦が見られた。	目標値を2.1割上回った。設問別に見ると、用水路の工夫について、資料から考える問題で、全国平均を上回った。一方で、節水のための工夫については、全国平

		均を1.8割近く下回り、学習内容を生活に生かす指導の充実を図る必要がある。
--	--	---------------------------------------

### ③ 第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を0.5割下回った。設問別に見ると、日本の主な地形と名称や間伐の意味についての理解は、どちらも全国平均を1.0割以上上回り、学習内容の定着が見られた。一方で自動車の生産工程の理解では、7割近く下回り、課題が見られた。	目標値を4.7割上回った。設問別に見ると、雨温図の読み取りや食品を購入する時の基準について、場面から判断する問題でいずれも5割以上上回った。一方で林業に関する課題や自動車の海外生産について表現する問題では、全国平均をわずかに下回った。	目標値を5.4割上回った。設問別に見ると、食料生産の理解を基に資料を読み取る問題では、全国平均を1.0割以上上回り、ほぼすべての設問で全国平均を上回った。

## 3 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図記号や日本地図を常掲し、地図記号や都道府県を目にする機会を増やす。</li> <li>・調査活動や地図帳、具体的な資料を基にして必要な情報を調べまとめる技能を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や統計資料、写真、新聞記事などを効果的に用いる学習を進め、資料を読み取る力の向上を図る。</li> <li>・資料を見て数値の増減や年表の出来事をノートや新聞にまとめ、発表につなげる学習活動を繰り返し行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちの興味や関心が高まる学習問題の設定を行う。</li> <li>・社会科見学やゲストティーチャーを招いての授業など、体験や実感を伴う学習活動を取り入れる。</li> <li>・学習課題を自力解決できるような効果的な資料を用意する。</li> </ul>

### (2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習に地図帳を活用し、地図から正しい情報を読み取り、国や地域の地理的な特徴を把握する機会を増やす。</li> <li>・地図帳や地球儀、統計や年表などの資料を通して、情報をまとめる活動を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや資料、新聞記事などに触れる機会を増やす。数値の増減や差に気付くだけでなく、その要因や背景について考えを深められるようにして、多角的に物事を捉える力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科見学やゲストティーチャーを招いての授業など、体験・実感を伴う学習活動を取り入れる。</li> <li>・考えたことを文章で表現したり、社会生活に生かせる場面を設定したりし、関心を高める。</li> </ul>

## 4 重点指導事項

○調査活動や地図帳などの具体的資料を活用して、必要な情報を調べ、まとめる活動を取り入れる。

(知識・技能)

○資料を見て数値の増減や年表の出来事をノートや新聞にまとめ、発表につなげる学習活動を繰り返し行う。

(思考・判断・表現)

○体験的な学習活動や、学習したことを振り返ったり、社会生活に生かそうとしたりする活動を取り入れる。

(主体的に学習に取り組む態度)